

大切な人、大切なまちを守るために 団に入りませんか

かし、その団員数は年々減少しています。今回は消防団の現状 の団員はそれぞれ仕事を持ちながらも日夜活動しています。 と今後のあり方について考えてみたいと思います。 火災や災害などからわたしたちの町を守っている消防団。 そ

消防団は地域住民で構成

当たる「非常勤特別職の公務員」 け付けて消火活動や防災活動に 防団員として出動。 それぞれの仕事に就いています が、一たび災害が発生すれば消 業や自営業、会社員など普段は です。消防団員の多くは農・漁 関とは違って、地域に暮らす一 専門職員として従事する行政機 般住民の有志で構成される組織 消防団とは、 昼夜を問わず災害現場に駆 消防署など消防 町を守るた

消火以外にも多岐に活:

や風水害など大規模災害時の警 生時での消火活動ですが、地震 消防団の活動は、主に火災発

> どの消火活動訓練に取り組んだ のときを想定したポンプ操法な 動を行っています。また、有事 警戒活動など地域に密着した活 災予防運動のほか、地域行事の 問による防火指導や春・秋の火 者の捜索など多岐にわたります。 戒・救助活動に加え、行方不明 プを図っています。 講したりなど、常にスキルアッ 一方、災害が無くても、 救急救命に関する講習を受 . 戸別訪

地域の安全守る団員募集

人をピークに減少の一途をた なっており、昭和4年の397 て6月1日現在で349人と 団員数は、 と13の分団で組織されています。 本町の消防団は、 定数400人に対し 消防団本部

全国的にも年々減り続けている

希薄化だと考えられます。 化の進行や地域内での連帯感の 団員数。その原因は、少子高齢

このまま団員の減少が続けば

◆山田町消防団員数の推移 (単位:人) どっています。 410 397 400 389 390 383 380 370 本町だけでなく 349 350 330 320 昭50 昭60 平 6 平16

山田町統計書参照 ※平成22年の団員数 は22年6月1日現在の数値

みませんか。詳しくはお問い合 り地域を守るため共に活動して しくなります。 わせください。 人の力が必要です。消防団に入 活を送るためには皆さん一人一 んの生命・財産を守ることが難 大規模災害などから町民の皆さ 安心・安全な生

◆問い合わせ 山田消防署 82-3139) へどうぞ。 **8**

THE STATE OF THE S

山田町消防団長 菊 地 民 雄さん(田の浜・73)

模災害などへの対応はできないの中に芽生えてこないと、大規守る」という意識が町民皆さんが、「自分たちの町は自分たちで定数確保は優先すべき課題です

意識付けが、

町消防団

皆さん一人一人の

ていくのではない

定員の確保が優先課題

皆さんの町を守る思いが大事

菊地民雄町消防団長に、団員の減少問題やその対策などについてお話を伺いました。

ますので、 多くなっているように感じます。 外ではありません。年々、 ば入団する可能性はあると思 団していない若い人はまだい 「員数が増えないのが現状です び掛けていますが、なかなか ーション活動を通じて参加を やバレーボールなどレクリ が必要でしょうか? 対策としてどのような取り組 でなく、早期に退団する人も 人たちの入団が減っているだ 団員ですが、本町においても 全国的に年々減少して 入団促進のため、ソフト 大きな問題の団員減少、 知り合いを通じてい 女性も大きな力 ボー る消

> いただければと思います。わったお母さん方にも入団してとなりますので、子育ての終 くり 手伝ってもらえるような体制づ は門扉閉鎖だけで手一杯なのが 必要ですが、 はどのようにお考えですか? に対する知識と経験を持つた方 には門扉閉鎖や避難誘導などを な門扉の閉鎖が重要となります。 を最小限に食い止めるには迅速 存在は大きいと思います。 状。退団した方にも有事の際 波は恐ろしい災害です。 また地域の方々の避難誘導も 海岸に住む人たちにとっては る宮城県沖地震津波への対応 今後の町消防団の活性化に が必要だと考えます。 近いうちに発生するとい 今の消防団員数で 被害 防災

指 1 2 3

はどんなことが必要ですか?

すの少子高齢化により進行して

消防団員の減少は今後ますま

くものだと思います。団員の

小型ポンプ操法の部で優勝した第12分団の皆さん



ポンプ車操法の部で優勝した第1分団の皆さん

5月30日、町消防操法競技会が山田消防署敷地内で行われ、町内全13分団の団員233人が参加しました。消防団の士気の高揚と日常の訓練の成果を発表するため1年おきに行われているもので、大会では各分団とも訓練の成果を存分に発揮していました。競技の結果、ポンプ車操法の部では第1分団、小型ポンプ操法の部では第12分団が優勝。各部門の優勝分団は、7月4日に行われる宮古地区支部消防操法競技会に出場します。第1分団の分団長大久保章雄さんは「県大会出場を目標に練習を重ねてきました。優勝できるように頑張りたい」、第12分団の指揮者の佐々木克俊さんは「次の大会でも上位を目指したい」と熱く話していました。



町消防操法競技会の様子

第1、12分団が各部でそれぞれ優勝

和30年とお聞きしましたが、

菊地団

長が入団したのは

の消防団と比べて今の実情は

どうですか?